



カンムリウミスズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成20年10月NO5
発行 門川町教育研究所
所長 斉藤 義輝
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

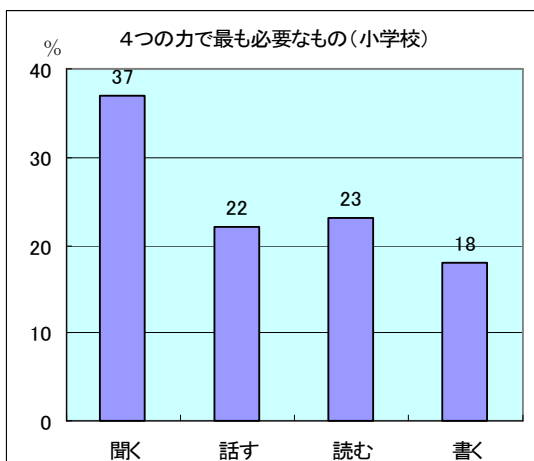
先生たちへのアンケートから！

1学期の終わりに門川町の先生方にご協力いただき、「話す」「聞く」「読む」「書く」などの基礎力についての実態調査を行いました。下はアンケート調査の結果で、先生方から学力を高めるためのいろいろなご意見をいただきました。

今後、この調査の結果から、「話す」「聞く」「読む」「書く」力を育てるために、どのような指導を工夫すればよいかを考え、それぞれの学校で生かしていきたいと思います。



小学校の先生は、「聞く」力を育てることが大切だと考えています。

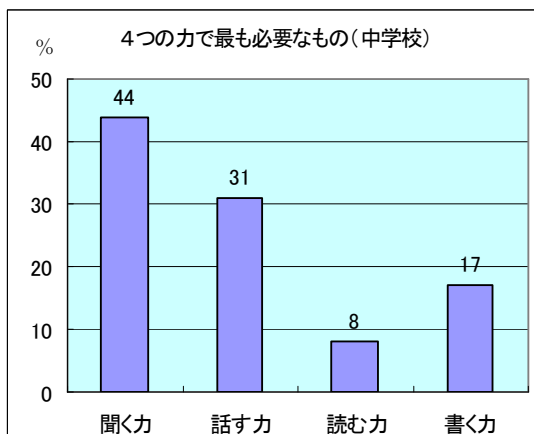


小学校の先生は、「聞く」ことが第一に大切だと思っていることが分かりました。「話す」・「読む」・「書く」ことについては、ほぼ同じ割合でした。

先生の話をしっかり「聞く」ことで授業がなりたちます。学習の基礎を育てる役割をになう小学校では、「聞く」姿勢や態度、意欲をしっかり育てることは、最も大切なことと言えます。

聞くことができることで、「話す」・「読む」・「書く」力も育つのではないのでしょうか。

中学校の先生は、「聞く」力と「話す」力を育てることが大切だと考えています。



中学校の先生は、「聞く」力とともに、「話す」力が大切だと思っていることが分かりました。その次に、「書く」力、「読む」力という結果でした。

子どもは成長すると、進んで話すことが少なくなる傾向があります。中学校では、授業をしっかり成立させることが大切だと考え、小学校以上に「話す」ことを重視しているようです。

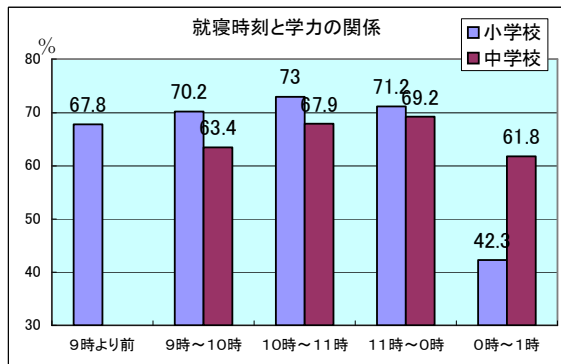
小学校教育の基礎の上に立って、自分の意見をしっかり言えるようになってほしい、という願いが込められているのではないのでしょうか。

門川の子どもの早起き・早寝・朝ご飯 ～ だから早起き・早寝・朝ご飯をすすめよう ～ パートⅡ

全国学力・学習状況調査から



学年に応じた就寝時刻を決めよう！



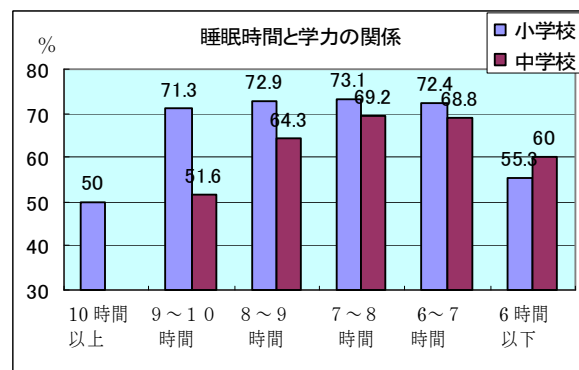
小学校6年生では10時頃までに、中学生では11時頃に寝る子どもの学力が比較的高くなっています。

これは、単に就寝時刻だけで学力が決まるのではなく、学年に応じた家庭学習の量も関係していると考えられます。また、小・中学生とも夜更かしをすると学力に影響があるといえます。

学年に応じて、勉強時間や睡眠時間も考えながら、就寝時刻を決める必要があります。



8時間前後寝る子どもの学力は高い！



小・中学生とも7～8時間前後の睡眠をとる子どもの学力が高くなっています。特に、小学校で6時間以下の睡眠しかとらない、また、小・中学校共通して睡眠時間が長すぎる子どもたちは、8時間前後寝る子どもたちと比べると、点数に大きな差があることが分かります。

やはり、子どもに必要な8時間程度の睡眠時間をとることで、学力も向上するといえます。

教育研究所からのメッセージ

今回の「ふれあい」では、「早寝」に関して、就寝時刻、睡眠時間と「学力」についての関係を紹介しました。門川町では「早起き」「早寝」「朝ごはん」に力を入れています。グラフでも分かるとおり、睡眠も「学力」に大きな影響を与えています。学年がかわる4月や月の変わり目を機会に、家庭で「早起き」「早寝」「朝ごはん」といった基本的な生活を見直してみるといいですね。

(※ グラフは、昨年度の全国学力・学習状況調査をもとに作成したものです。)

子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
63－1566

~~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~~